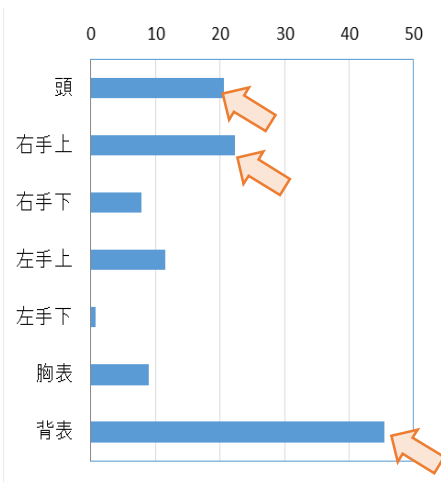


農薬散布による作業者の安全対策

農薬散布による作業者の影響（呼吸と皮膚から体内にとりこまれる農薬）を防ぐため、施設キュウリ栽培における実態を調査しました。

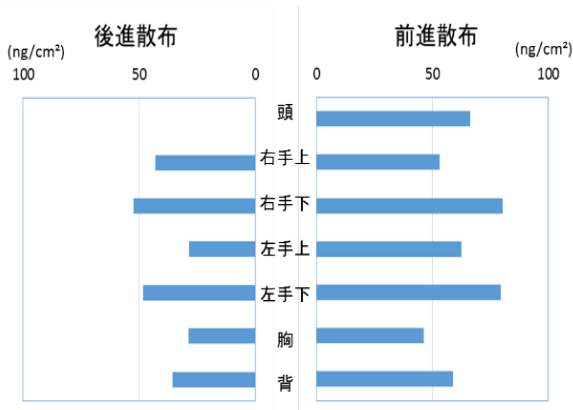
調査の結果、背中、頭、上腕の上半身で付着が多い事がわかりました。さらに、葉が茂ると移動時に接触して付着量が多くなりました。農薬散布時には、①防除衣の着用をすること、②つる下し栽培の導入や整枝の実施、③葉から距離をとり、④後ろ向き散布の徹底で暴露量を減らすことができます。また、散布圧が高いと吸引量が増えるため、⑤散布圧を控え上向きの噴射を減らすと呼吸からの吸入量は減少し、作業の安全性が向上します。



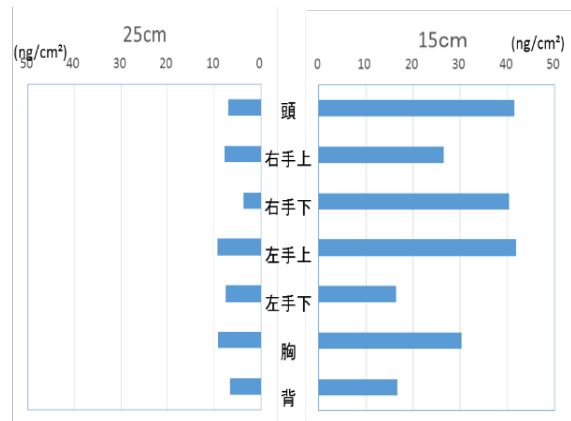
農薬の付着量状況
上腕部、頭、背の付着が多い

調査の様子
上半身をしっかり防護
しましょう

後ろ向き散布の様子



前進散布と後進散布の違い
後ろ向き散布で 1/2 以下に減少



散布時の走行位置と付着量
植物から 10cm 離れると 1/4 以下に減少